

100周年記念基金学術振興助成の申し合わせ

大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰および特別学術振興活動への助成に関しては、下記のように取り扱う。

1. 大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰に関する発表賞の配分について

1) 賞Aの配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞Aの研究会等へ配分を求めると、毎年過去1年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数は3年間は固定し、3年毎に過去3年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表1-1のように各部門研究会ならびに部門大会に賞Aを配分することとする。

2) 賞Bの配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞Bの研究会等(*)へ配分を求めると、毎年過去1年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数は3年間固定し、3年毎に過去3年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表1-2のように全国大会ならびに支部大会に賞Bを配分することとする。

2. 特別学術振興活動への助成

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」第2条(4)に定める特別学術振興活動への助成金の年約300万円については、各部門へ優先的に約250万円(50万円×5部門)を充当するものとする。

(改廃等)

1. 平成12年4月7日、調査会議において一部改正。
2. 平成13年6月28日、調査会議において一部改正。
3. 平成19年4月25日、理事会におけるE準部門部門昇格決定に伴う語句修正。

下の「注」は、平成12年10月11日、事業サービス課にて追記しました。

注：(*)を付記した1-2)の研究会等は、正しくは「全国大会、支部大会等」です。

○表 1-1 賞Aの算出結果

	発表論文数				配分数
	平成 21 年	平成 20 年	平成 19 年	合計 (H19~21)	H22~24
A部門研究会	1,141	923	868	2,932	16
B部門研究会	931	802	710	2,443	14
C部門研究会	543	579	517	1,639	9
D部門研究会	803	919	818	2,540	14
E部門研究会	103	96	124	323	2
東京支部連合研究会	61	90	67	218	1
研究会合計 (1)	3,582	3,409	3,104	10095	56
A部門大会	184	200	174	558	3
B部門大会	352	415	448	1,215	7
C部門大会	378	245	295	918	5
D部門大会	532	531	489	1,552	9
部門大会合計 (2)	1,446	1,391	1,406	4,243	24
(1) + (2)	5,028	4,800	4,510	14,338	80

○表 1-2 賞Bの算出結果

	発表論文数				配分数
	平成 21 年	平成 20 年	平成 19 年	合計 (H19~21)	H22~24
全国大会	1,623	1,544	1,507	4,674	40
北海道支部連合大会	205	251	251	707	6
東北支部連合大会	306	376	356	1,038	8
東海支部連合大会	562	617	479	1,658	13
北陸支部連合大会	331	371	331	1,033	8
関西支部連合大会	381	345	369	1,095	9
中国支部連合大会	472	390	330	1,192	10
四国支部連合大会	359	435	400	1,194	10
九州支部連合大会	710	698	539	1,947	16
支部大会合計	3,326	3,483	3,055	9,864	80